

令和4年度 創進学園高等学校 学校自己評価

学校運営計画			
学校運営方針		自己の可能性にチャレンジし,新しい時代に活躍できる心身ともに健康な人間を育てる。	
昨年度の成果と課題		今年度の重点目標	具体的目標
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>身だしなみ等生徒指導上の注意事項について時間を掛けて指導し、効果が少しずつ表れてきた。また、進路について日頃から自ら積極的に意識し行動できるようになってきた。</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>①生徒手帳に基いたルールの順守</p> <p>②思いやりの心を育ませるはたらきかけ</p> <p>③環境美化意識の向上</p> <p>④希望する進路の実現</p> <p>⑤職業への意識の定着</p>		<p>基本的な生活習慣の確立と生徒指導の充実</p>	<p>全教職員の共通理解のもと、端正な身なり・挨拶・時間厳守等の習慣を身につけさせる。生徒指導を行う上で基盤となる、教員と生徒の共感的人間関係をつくる。</p>
		<p>基礎学力及び学習意欲の向上</p>	<p>家庭学習定着のための指導の工夫。生徒一人一人に応じたきめ細かい指導。進学や資格取得を目指し、学校生活に目標を持たせる。ICT機器を効率的に活用して新たな学びに対応させる。</p>
		<p>希望する進路の実現</p>	<p>進路・学年・保護者間で緊密な連携をして進路指導を行う。進路ガイダンスや大学説明会、企業見学等を通して、有益な情報を提供する。生徒が志望校・科目選択を正しく行えるように、的確な受験指導を行う。</p>
デザイン・アートコース・キャリアコース共通			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価
生徒指導	「あ・じ・み三原則」の定着	“あいさつ・時間厳守・身だしなみ”の習慣づけと定着への積極的な声掛け指導を行い、意識させる。	B
	メディアリテラシーの向上	SNS等で誹謗中傷をしない、させないために、生徒に思いやりの心を育ませ、人間関係を工夫させる。学校生活の中で、集団を意識させ、公共の場であるという意識を持たせる。	B
	環境美化意識の向上	各教室や階段、その他場所について、丁寧な掃きそうじと週1日以上の水拭き掃除を徹底させる。職員も細やかな清掃指導を心がけ、全校で奉仕の心を育む。	C
保健指導	健康の維持	生徒が自ら健康課題について考え、判断し、行動できるような実践的な能力や態度を身につけるよう指導と支援に努める。また、保護者面談や保健室だより等の様々な機会を通じて、保護者へ啓発する。	A

	健康上の課題に対応	心身に、健康上の課題がある生徒の把握を的確に行い、その指導と支援について保護者、家庭との連絡を密にする。そのため、普段から教職員同士のコミュニケーションを図り、課題に対して適切に対応する。	B
	関係者との連携	保護者・専門機関との情報交換を密にし、連絡体制を形成する。	B
デザイン・アートコース			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価
学習指導	授業の充実	一般教科においては、教員内での情報交換を密に行い、生徒の習熟度や定着度合いを把握し、適宜指導を行う。美術科目に関しては、技術のみならず一人ひとりの制作、作品への向き合い方を尊重した指導を行う。その向き合い方や制作意図を文章にし、他者に伝える力を向上させる指導にも力を入れる。制作や作品完成までの過程をよく相談し、個性豊かな作品を生み出すための指導を行う。	A
	予習復習の実施	1人ひとりが学習習慣をより確かなものにする。	B
	学習「課題」の取り組み	自ら積極的に課題に取り組み、創造力を高めるようにする。	B
進路指導	体系的、組織的な進路指導の実施	教科担当や担任、保護者と緊密に連携を図るとともに、3年間を見据え、体系的かつ組織的な進路指導を基軸とし、生徒個々の能力や適性に合わせた進路指導を行う。	B
	主体的、探究的な進路指導の促進	学校生活や進路行事等を通じて勤労観、職業観を身につけ、自己の進路実現に向け、主体的かつ探究的に進路を考えられるように促す。	A
	保護者及び生徒向けの進路情報の拡充	保護者及び生徒が必要とする進路状況を提供する場を設け、親子間の進路選択のミスマッチを低減できるようにする。	B
キャリアコース			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価
学習指導	生徒目線に立った授業改善に努める。授業中、生徒一人一人のつまづきを見逃さないよう努める。	机間指導を充実させ、授業時間内の生徒一人一人の状態をきめ細かく把握し、つまづいている生徒がいればその場で解決するように努める。	B
	I C T機器を活用して視覚的教材を授業に取り入れる。	I C T機器を随時活用して視覚的教材を取り入れ、理解しやすくするよう努める。1年生からはタブレットを導入するので、より分かりやすい授業となるよう工夫する。	B
	レポートを確実に提出させ、学びの好	レポートについては、その日の授業内容に該当する部分を授業時間内で行わせたり、レポート本体に細かく教材のページ数を	B

	循環につなぐ。	示したりして解きやすくし、レポートを確実に提出できるように授業者が工夫する。	
進路指導	体系的、組織的な進路指導の実施	教科担当や担任、保護者と緊密に連携を図るとともに、長期的な視野をもって体系的かつ組織的な進路指導を基軸とし、生徒個人々に寄り添った進路支援を行い、さらなる能力や適性を引き出せるよう工夫する。	B
	主体的、探究的な進路指導の促進	学校生活や進路行事等を通じて勤労観、職業観を身につけ、自己の進路実現に向け、主体的かつ探究的に進路を考えられるように促す。	A
	進路情報の拡充	進路資料の精選と提示を工夫し、生徒や保護者、職員等が必要に応じて情報活用しやすい状況を作り出す。また、職員間で進路情報の共有化を図れるよう工夫する。	A
成果と課題	<p>&lt;生徒指導&gt;</p> <p>○「あ・じ・み三原則」の定着…頭髪・ピアス・制服の正しい着用について、校則に基づいた身だしなみを多くの生徒ができるようになった。身だしなみの意識向上と時間厳守を重点的に指導したい。あいさつは教員側からするようにする。</p> <p>○メディアリテラシーの向上…各場面場面で手段を意識させ、他に対して思いやりの心を持たせ、人間関係を工夫させることができた。スマートフォンの使い方、特に SNS 上でのトラブルを起こさせないように、全体指導や学年指導、個別指導を繰り返す。</p> <p>○環境美化意識の向上…週 1 日以上の水拭き清掃を徹底することができなかった。年度はじめから清掃の仕方や流れを丁寧に指導し、習慣化させること。まずは職員自ら積極的に清掃に取り組めるようにする。</p> <p>&lt;保健指導&gt;</p> <p>○今年度は保健所主催の事例検討会と講演会を行い、生徒支援について研修を深めることが出来た。しかし、校内体制で連携を取れない場面もあった。特に精神保健に関しては、関係者が一人で抱え込まない、校内体制に則って、連携・事例検討会などの工夫が必要である。</p> <p>【デザイン・アートコース】</p> <p>&lt;学習指導&gt;</p> <p>○美術の授業においては生徒一人ひとりの個性を生かし指導を行い、またその成果として作品に反映できた。その一方、一般教科の学習指導についてはまだ家庭学習や予習復習の習慣付けに個人差がある。個別対応やこまめな声かけと確認などを行っていく必要がある。また、大学受験へ向けて、幅広い実技対策や指導が必要だが、生徒一人ひとりが考え実行で対策を行える仕組みを構築していく。</p> <p>&lt;進路指導&gt;</p> <p>○体系的、組織的な進路指導の実施 ○主体的、探究的な進路指導の促進</p> <p>職業理解を深め、段階的に進路意識を高められるように目的意識をもって臨める進路行事を豊富に計画した。次年度では、美術デザイン領域に固執することなく幅広い進路選択ができるように、社会や自己とを関連付けて進路を意識させられるようにガイダンス等の内</p>		

容を充実させていき、進学意識の向上を図る。

○保護者及び生徒向けの進路情報の拡充

進学や就職に関する資料を生徒の手の届くように掲示や配付を工夫した。保護者面談等で活用できるよう進路資料の整備を行う。

【キャリアコース】

<学習指導>

○授業改善

コロナ禍のため十分な机間指導ができなかったが、全体的には、生徒それぞれが主体的に授業に望む環境ができていた。

○ICT機器の活用

個々の iPad は1年生からの導入であったが、それぞれの科目で工夫しながらの利用ができていた。2・3年生はプロジェクターを利用し、視覚効果を高めた授業ができていた。

○レポート

ほとんどの生徒は提出締め切りを守ることができたが、一部生徒の提出が遅れた。科目担当だけでなく担任とも連携し、提出遅れを改善できるよう、工夫が必要となる。

<進路指導>

○体系的、組織的な進路指導の実施主体的 ○探究的な進路指導の促進

職業理解を深め、段階的に進路意識を高められるように目的意識をもって臨める進路行事を計画した。次年度では、幅広い進路選択ができるように、社会や自己とを関連付けて進路を意識させられるようにガイダンス等の内容を充実させていき、個々人の進路選択の一助となるよう工夫を凝らしていく。

○進路情報の拡充

進学や就職に関する資料を生徒の手の届くように掲示や配付を工夫した。保護者面談等で活用できるよう進路資料の整備を行う。

※評価は3段階(A・B・C)で行う。